

ESSEN MOTOR SHOW

最新の欧州カスタムシーンをピックアップ

欧州最大のカスタムカーショーが11月26日~12月4日の9日間にわたり、ドイツ「エッセン」にて開催された。本場ドイツ仕込みのカスタムカーが数多く展示されている中から、選りすぐりのクルマを紹介しよう。

PHOTO: Katsuke KUMASAKI (af imp.) TEXT: Tatsuya SUZUKI (af imp.)

2016

LORINSER

[ロリンザー] www.lorinser.co.jp

日本でも絶大な人気を誇るロリンザーからは、同社としては珍しく、ハーフ形状を採用したエアロパーツをワールドプレミア。ブースには、新作のエアロパーツを身に纏い、パワーアップモジュール等でチューニングが施されたGLSなどが展示される。新たな試みにより、心機一転を固めた同社の今後に期待したい。



ヒマラヤグレーにオールベンプレミアム感が増したGLS350。修正フォルムを添えた控えめなエアロは、さり気なくボディにマッチしスタイリッシュに演出



GLS 350 d 4MATIC

軽量鋼油29インチビースポイール「RS10」を装着。大口径ホイールにアグレッシブなラインストーンデザインが魅力的だ



威圧感を出すためにW222のフロントグリルを採用。フロントエアロをあえてハーフタイプとすることで、メリハリの効いたフロントマスクに仕上がっている



メルセデスの老舗チューニングブランドの新たな試み



AMG E43



リアディフューザーはカーボンファイバーに変え、デザインもできる限りオリジナルのイメージを崩すことなく、さり気なくスポーティに染う



リップタイプを採用したフロントリップと造打ったようなデザインのリアトリムがスタイリッシュ。ホイールは最新の1ピース鍛造ホイール「RS11」を履き、エレガントな足元に

E43 AMG本来のデザインを活かすため、修正ボディラインに合わせたエアロをラインアップ。フロントには、控えめながら印象的な鎖つきに仕上げるリップスポイラーが特徴的

